

旅行条件 [最少催行人員 10名様]

1. 旅行代金に含まれるもの

- ①旅行日程に明示した航空運賃(エコノミークラス利用)
- ②旅行日程に明示した宿泊料金(お2人で1部屋利用)および税・サービス料金
- ③旅行日程に明示した食事料金および税・サービス料金(朝食のみ)
- ④旅行日程に明示した貸切バスの運賃、工場訪問の際の通訳・観光ガイド料金
- ⑤お1人様につき1個23kgまでの手荷物運搬料金
- ⑥団体行動中のチップ・サービス料金
- ⑦添乗員経費(1名の添乗員が同行しお世話する諸経費)

2. 旅行代金に含まれないもの

- ①超過手荷物料金、傷害・疾病の際の医療費、その他個人的性質の諸費用
- ②日本国内における自宅から空港までの交通費、宿泊費など
- ③出入国書類作成および渡航諸手続料(4,320円)
- ④海外訪問先お土産代(3,000円)
- ⑤成田空港施設使用税(2,610円) カナダ各都市空港税(約10,000円) ※1
- ⑥燃油サーチャージ(約52,000円) ※1
- ⑦海外旅行傷害保険料(任意分)
- ⑧昼食・夕食代金=預かり金制度を採用し精算後、余剰金が発生した場合はご返金いたします(100,000円)
- ⑨一人部屋使用の場合の追加料金(68,000円) ⑩オプションツアー代金

3. ご旅行条件・ご旅行代金の基準

この旅行条件・旅行代金は2014年7月25日現在有効な航空運賃・適用規則ならびに為替レートを基準としております。

- ※1. 燃油サーチャージ及び各都市空港税はご出発の約2週間前の為替レートにより算出します。従いまして変動することがあります。

4. ご旅行代金のお支払について

ご旅行お申込時に申込金として10万円お支払いいただき、残金はご旅行出発2週間前までにお支払いいただきます。

5. 取消料

参加を取り消される場合、下記の取消料を申し受けます。

- ①出発の前日から起算して30日前～3日前=旅行代金の20%
 - ②出発日の前々日および前日=旅行代金の30%
 - ③出発当日=旅行代金の50%
 - ④旅行開始後 旅行代金の100%
- 【詳細は後日、(株)ティ・アイ・コンソーシアからお送りする旅行条件書をご参照下さい】

お申込要領

■視察のお問い合わせ

株式会社 食肉通信社 本社 TEL:(06)6443-4947 担当:中村

■旅行参加のお問い合わせ・お申込先

株式会社 ティ・アイ・コンソーシア 東京本社
トラベルアイ東京本部営業 担当:坂元美香子
TEL:(03)3238-9400 FAX:(03)3238-5271

■ツアー申込期限 2014年9月3日(水)

2014年9月3日(水)までにお申し込み下さい。ただし定員に達し次第締め切ることがありますので、お早めにお申し込み下さい。

■お申込金および旅行代金のお支払方法

申込金100,000円(お申込時)および申込金を差し引いた旅行代金の残金(旅行開始日の10日前に諸費用をご請求いたします)は下記の口座にお振込み願います。

みずほ銀行 南船場支店 普通預金口座:1774081
名義:株式会社ティアイコンソーシア

<http://www.travel-i.net>

カナダ食肉産業視察ツアー2014参加申込書

FAX (03) 3238-5271

★パスポートコピーを同送ください

フリガナ	生年月日	☐ 昭和	年	月	日	
氏 名	☐ 平成	(出生日の年齢	歳)	(西暦	年)	
勤務先名称	たばこ	☐ 吸う	☐ 吸わない			
所属部課・役職	パスポート	☐ 持っている	☐ 持っていない			
勤務先所在地 〒	パスポート番号					
TEL	FAX	発行年月日	年	月	日 (5年間・10年間)	
E-mail		一人部屋	☐ 希望する	☐ 希望しない		
ご自宅住所 〒	同室希望者名					
TEL	FAX	工場視察時	【白衣サイズ】	☐ M	☐ L	☐ XL
E-mail			【靴サイズ】			cm

視察内容お問い合わせ

株式会社 食肉通信社

〒550-0004 大阪市西区鞠本町3-8-9
小田急阿波座海部ビル4F

TEL: 06-6443-4947 FAX: 06-6443-9887

担当: 中村 誠

旅行企画実施



株式会社 ティ・アイ・コンソーシア
Travel Industry Consortia

東京本社

〒102-0074 東京都千代田区九段南3-3-6 麹町ビル5階
TEL: 03-3238-9400 FAX: 03-3238-5271 担当: 坂元美香子
MAIL: sakamoto.mikako@travel-i.net

大阪支店

〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋11階
TEL: 06-6233-5489 FAX: 06-6233-5480 担当: 西島 善治
MAIL: nishijima.yoshiharu@travel-i.net



カナダ食肉産業視察ツアー2014

参加者募集のご案内

～ビーフ、ポークの供給力を探る～

旅行期間 2014年10月19日(日)▶10月26日(日) [8日間]

旅行代金 468,000円 お申込締切日 9月3日(水)

(燃油サーチャージ、各地空港税は含みません)



1 カルガリー (西部・アルバータ州)

話題のレストランでカナダビーフ
セミナー受講



2 レッドディア (西部・アルバータ州)

ポークパッカー「オリメル社」の
新鋭工場視察



3 ハイリバー (西部・アルバータ州)

ビーフパッカー工場とフィードロット
(肥育場) 視察 <視察要請中です>



4 トロント (東部・オンタリオ州)

カナダポーク・インターナショナル
のポークセミナー受講

POINT!

食肉業界に携わるお仲間との出会い、そして刺激を受けることが出来る視察ツアーです。本ツアーに参加することにより、新たな交流と仕事の発展が期待できる貴重な企画となっております。ぜひご参加ください!



視察先企画: 株式会社 食肉通信社

旅行企画実施: 株式会社 ティ・アイ・コンソーシア



Travel Industry Consortia

[旧社名: 株式会社 トラベルアイ] 観光庁長官登録旅行業者第1748号

参加のおすすめ

TPP交渉国の一つ・カナダは、ビーフ輸出量が世界5位(7.3%)であり、ポーク輸出量は同3位(20%)を誇る重要な食肉供給国です。恵まれた自然環境の下、良質な水、世界有数の生産量を誇る穀物をベースに、高度な肥育技術と官民一体となった安心・安全を目指すさまざまな生産管理システムの構築により、牛・豚肉ともに高品質な製品として世界の消費者から高い評価を獲得しています。

今回の視察ツアーではカナダのビーフ・ポーク産業の現状を知るため、オリメル社などの代表的なパッカーを訪問し、その供給力を体感していただきます(ただし、ビーフパッカー視察は要請中の段階です)。また、ビーフでは話題のレストランでハンドリングや調理の実態をレクチャーしていただきます。ポークでは豚肉の貿易促進活動を担っているCPI(カナダ・ポーク・インターナショナル)のセミナーを受講する予定です。

カナダ東部と西部の自然環境と畜産環境を実感する食肉通信社企画「カナダ食肉産業視察ツアー」に多数のお申込みをお待ちいたしております。

カナダビーフの現状

▶▶カナダビーフは個体識別システムによって管理されています。
2010年7月から、出生農場から移動するすべての牛に無線読み取りタグ(RFID)を装着することが義務化されました。

▶▶カナダから輸入されるビーフは100%肉専用種です。
気候が涼しいカナダでは、暑さへの耐性がある品種(ブラーマンなど)を選択する必要がないため、牛肉の軟らかさにバラツキがありません。

▶▶カナダは穀物肥育です。
大麦の生産が盛んな西部・アルバータ州では大麦肥育を行い、東部・オンタリオ州ではトウモロコシ肥育が中心。肉質の良さにつながっています。

▶▶カナダビーフ格付システムで品質の優位性を保証しています。
脂肪交雑(霜降り)・成熟度・肉の色・脂肪の色・肉(筋肉)の付き方・肉質(テクスチャー)などの基準により、厳格に格付されています。



カナダポークの現状

▶▶畜産に適した気候風土に恵まれています。
カナダは世界で2番目の広大な国土を持ち、人口密度が低く、豊かな穀物など高品質の家畜を生産する資源があります。気候も養豚に適した北部温帯気候です。

▶▶厳格な安全システムの下、飼育されています。
カナダ産肉豚の品質と安全性は、CFIA(カナダ食品検査庁)が支援するHACCPに基づいた農場内食品安全システムCQA(カナダ品質保証プログラム)を通じて守られており、医薬品使用も厳密に規制、監視されています。

▶▶ストレスのない環境で飼育されています。
家畜のケアとウエルフェアはカナダ豚肉業界の最優先事項の1つであり、農場内では連邦法規と州のプログラムとを合わせ、最高度の家畜ケア基準が順守されています。

▶▶豊富な穀物が肉質の決め手です。
高品質の飼料が高品質のポークにつながっています。カナダポーク特有の風味、肉色、キメを与えるため、トウモロコシ、大麦、小麦など高エネルギーの飼料用穀物を栽培、給餌しており、安全性と品質はCFIAによって管理されています。



※画像は全てイメージです

カナダ食肉産業視察ツアー 2014 日程表

日次	月 日	都市名		現地時間	交通機関	摘 要
1	2014年 10月19日 (日)	東京(成田)	発	16:00	AC-010	午後 空路、エアカナダ直行便にてカルガリーへ (所要9時間45分) 着後 カルガリー市内流通視察 ＜レストランでカナダビーフセミナー受講＞ カルガリー泊 朝食(機内食) 昼食(x) 夕食(x)
2	10月20日 (月)	カルガリー レッドディア (Red Deer)	発着	早朝	貸切バス 約147km (約2時間)	午前 カルガリー北部のレッドディアへ 着後 ポークパッカー視察 『オリメル社・レッドディア工場』 午後 カルガリー市内へ戻り、流通視察 カルガリー泊 朝食(○) 昼食(x) 夕食(x)
3	10月21日 (火)	カルガリー ハイリバー (High River)	発着	早朝	貸切バス 約60km (約1時間)	午前 カルガリー南部のハイリバーへ 着後 ビーフパッカー工場とフィードロット(肥育場)視察＜要請中＞ 午後 北西部の「バンフ国立公園」見学 バンフ泊 朝食(○) 昼食(x) 夕食(x)
4	10月22日 (水)	バンフ ↓ カルガリー トロント	発着	朝	貸切バス 約130km (約2時間) AC-1150	昼 空路、トロントへ 着後 ホテルへ トロント泊 朝食(○) 昼食(x) 夕食(x)
5	10月23日 (木)					午前 カナダポーク・インターナショナルのポークセミナー受講 午後 トロント市内流通視察 トロント泊 朝食(○) 昼食(x) 夕食(x)
6	10月24日 (金)	トロント ↓ ナイアガラ オンザレイク ↓ ナイアガラの滝		午前	貸切バス 約127km (約2時間)	午前 ナイアガラオンザレイクへ 英国風の街並み「ナイアガラオンザレイク」を散策 その後、ナイアガラへ 着後 ナイアガラの滝観光 観光後、ホテルへチェックイン ナイアガラ泊 朝食(○) 昼食(x) 夕食(x)
7	10月25日 (土)	ナイアガラ ↓ トロント	発	午前	貸切バス 約124km (約2時間) AC-005	午前 トロント空港へ向かいます。 午後 空路、直行便にて東京(羽田)へ 機内泊 朝食(○) 昼食(機内食) 夕食(x)
8	10月26日 (日)	東京(羽田)	着	17:05		着後 入国手続を経て解散

※この日程表は作成当日の公示時刻表に基づいて作成されていますが、航空機の発着時刻は予告なく変更されることがあります。



バンフ国立公園(イメージ)



カナダの紅葉(イメージ)



ナイアガラの滝(イメージ)